

平成 26 年度 事務事業評価シート

担当部課等名	教育総務課
基本構想	生活の質の向上と定住人口の確保
重点的方針	2.子育て・子育て支援と教育学習環境の充実
分野別方針	(7)教育環境の整備推進
実施計画事業	1)教育相談・支援事業(No.19)

	予算事業名	事業費 執行率(%)	総合評価
01	教育研究所経費	86.1%	B
02	教育相談・教育支援室事業	94.4%	A
03			
04			
05			
課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・「やまびこ」にも登校しない(できない)不登校の児童・生徒への対応。 ・学校や関係機関と連携した相談体制のさらなる強化。 		

総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)		A
	説明	児童生徒の多様な相談に対し、専門的な対応がされており、一定の成果が認められる。	

方向性							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	現状は維持しつつ、児童生徒の課題を早めに発見し、対応することを目指し、26年度から各校を定期的に巡回する仕組み取り入れる。学校との連携を一層強化し、多様化する課題に的確に取り組む体制をつくる。						

◎評価者[担当主管部長]							
<input checked="" type="checkbox"/>	① 現状維持	<input type="checkbox"/>	② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/>	③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/>	④ 廃止
意見等	不登校や問題を抱える児童生徒への支援や相談体制は整備済みであるが、今後対象となるであろう児童生徒は増加することが想定される。即座に対応できるような担当教諭等の確保や人員配置などについても考えていく必要がある。						